

令和 7 年度
大学院連合教職実践研究科
教科研究開発高度化系
入学者選抜試験 2 月選抜

人間発達探究コース
人間発達探究プログラム
学力検査問題

専門科目：プログラム別問題

注 意 事 項

1. 問題冊子は監督者の指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子の科目名と受験票に記載してある科目名が、一致しているか確認すること。
3. 問題冊子は表紙を除いて 1 ページ、下書用紙は 2 ページ、解答用紙は 2 ページとなっている。
4. 問題冊子等の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
5. 試験開始後、全ての解答用紙に必ず受験番号を記入すること。
6. 試験終了後、解答用紙は提出し、問題冊子は持ち帰ること。
7. その他については、監督者の指示に従うこと。

プログラム名	人間発達探究プログラム
--------	-------------

科目名	専門科目 プログラム別問題
-----	------------------

(1 枚の 1)

令和 7 年 度
大学院連合教職実践研究科
教科研究開発高度化系
入学選抜試験 2 月選抜
試験 問題

以下から 1 分野を選択し、選択した分野の全ての問題に解答しなさい。

なお、解答欄には選択した分野を記入すること。解答欄が足りない場合は、解答用紙裏面を使用して差し支えない。

【教育学分野】

問 1 「学び続ける教師像」の概要について説明し、教師が専門性向上のために意識すべき点について論じなさい。

問 2 授業における振り返りの意義と課題について説明しなさい。

【心理学分野】

問 1 足場がけ（足場づくり）について説明し、その考えに基づく教師は児童生徒にどのようにかかわる必要があるか述べなさい。

問 2 中学校で教育相談を行う際に留意しておくことについて、中学生の発達の視点をふまえながら述べなさい。

【幼児教育分野】

問 1 文部科学省が令和 4 年度から集中的に推進している「幼保小の架け橋プログラム」について、それまでの幼保小の連携・接続の取り組みの何を課題とし、どのように幼児教育と小学校教育の充実を目指すものなのか、説明しなさい。

問 2 領域「言葉」の内容を踏まえ、幼児が日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わうために、どのような配慮や環境の工夫が考えられるか、具体的な例を挙げて述べなさい。

【特別支援教育分野】

問 1 「認知特性」について簡潔に説明をした上で、学校教育の中での児童生徒の認知特性への配慮の在り方について具体的に述べなさい。

問 2 「特別な教育的ニーズ」を巡る動向について説明し、近年その具体的な対象として理解されるようになった子どもたちの特徴と支援について、あなたの知るところを述べなさい。